

科目名称	アドバンスセミナー
授業コード	AF420
英語名称	Advance Seminar 2
学期	2024年度通年（前・後）
単位	2.0
担当教員	佐野 秀明, 富田 圭佑, 舟喜 晶子, 鎌塚 正志, 初鹿 宏明, 杉浦 加奈子
記入不要 ナンバリ ングコード	
授業の概要	基礎医学、臨床医学、柔道整復学など総合的に捉え講義、問題演習や解答解説をおこなう。 最終学年の自覚を持ち、柔道整復師国家資格取得のための学習計画・生活計画を立案し、実行する。 柔道整復師となるために意識を高め、自ら効果的な学習方法に取り組む。 社会常識、医療倫理・社会問題その他専門分野への関心を深める。 個別面談（学習指導、就職指導など）を含む。
科目に関連する実務経 験と授業への活用	外部講師（接骨院を開業する豊富な臨床経験を有する）と学科教員（鎌塚正志、富田圭佑、杉浦加奈子：接骨院および整形外科での臨床経験を有する）が実践的な柔道整復学を教授すると共に、接骨院における保険制度とその取り扱い方について講義する。
到達目標	ディプロマ・ポリシーに掲げる「医療人の義務や医療倫理を理解し人類社会に奉仕する使命感を有している」、「科学的根拠に基づいて評価・判断し、幅広い知識を身につけ、複合的な視点から知識を統合し問題解決にあたることができる」が実践できるよう、医療従事者者として基本的な知識を身につけ応用することができる。
計画・内容	第1回 ガイダンス、個人面談（担当：鎌塚正志、富田圭佑；柔道整復師） 第2回 柔道整復師の現状および国家試験（担当：鎌塚正志、富田圭佑；柔道整復師） 第3回 柔道整復師と公衆衛生・健康（担当：鎌塚正志、富田圭佑；柔道整復師） 第4回 柔道整復師と疾病予防・感染症・消毒（担当：鎌塚正志、富田圭佑；柔道整復師） 第5回 柔道整復師と環境（担当：鎌塚正志、富田圭佑；柔道整復師） 第6回 柔道整復師と保健（担当：鎌塚正志、富田圭佑；柔道整復師） 第7回 柔道整復師と衛生行政・疫学（担当：鎌塚正志、富田圭佑；柔道整復師） 第8回 小テスト（担当：鎌塚正志、富田圭佑；柔道整復師） 第9回 個人面談（担当：鎌塚正志、富田圭佑；柔道整復師） 第10回 柔道整復学と感染性疾患（担当：鎌塚正志、富田圭佑；柔道整復師） 第11回 柔道整復学と腫瘍（担当：鎌塚正志、富田圭佑；柔道整復師） 第12回 柔道整復学と非感染性疾患（担当：鎌塚正志、富田圭佑；柔道整復師） 第13回 柔道整復学と骨・軟部疾患（担当：鎌塚正志、富田圭佑；柔道整復師） 第14回 柔道整復学と神経・筋疾患（担当：鎌塚正志、富田圭佑；柔道整復師） 第15回 小テスト（担当：鎌塚正志、富田圭佑；柔道整復師） 第16回 柔道整復学と社会保障制度（担当：杉浦加奈子；柔道整復師） 第17回 柔道整復学と療養費（担当：杉浦加奈子；柔道整復師） 第18回 柔道整復学と医療従事者の医療倫理（担当：杉浦加奈子；柔道整復師） 第19回 柔道整復学と患者への対応（担当：杉浦加奈子；柔道整復師） 第20回 柔道整復学と社会責任と対応（担当：杉浦加奈子；柔道整復師） 第21回 小テスト（担当：杉浦加奈子；柔道整復師） 第22回 個人面談（担当：杉浦加奈子；柔道整復師） 第23回 柔道整復学と柔道整復師法：総則、免許柔道整復師名簿、試験（担当：杉浦加奈子；柔道整復師） 第24回 柔道整復学と柔道整復師法：業、施術所、雑則、罰則（担当：杉浦加奈子；柔道整復師） 第25回 柔道整復学と関係法規：総論、医療法、医師法（担当：杉浦加奈子；柔道整復師）

計画・内容	第26回 柔道整復学と関係法規：保健師助産師看護師法、診療放射線技師法、理学療法士および作業療法士法、薬剤師法（担当：杉浦加奈子；柔道整復師） 第27回 柔道整復学と国民医療費（担当：杉浦加奈子；柔道整復師） 第28回 健康保険（担当：山梨県柔道整復師会学術部員；柔道整復師） 第29回 健康保険の取り扱い（担当：山梨県柔道整復師会学術部員；柔道整復師） 第30回 個人面談（担当：杉浦加奈子；柔道整復師）
授業の進め方	板書およびパワーポイント使用して講義し、必要に応じて資料、視覚教材を用いる。
能動的な学びの実施	学生への質問も活発に行う予定なので、積極的な授業態度が期待される。
授業時間外の学修	授業前に該当箇所を読み、不明点をまとめておく（各回1時間） 教科書やプリントと関連付けて講義ノートを整理する（各回1時間）
教科書・参考書	特になし
成績評価方法と基準	定期試験（50%）、小テスト（20%）、課題（30%）で評価する
課題等に対するフィードバック	レポートはコメントを付与して返却する
オフィスアワー	CampusSquareを参照
留意事項	自ら課題に取り組み、積極的に学習すること。 私語を慎み、他の学生の迷惑にならないよう授業に臨むこと。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	授業の進め方 通信媒体（Zoom）、Web Class）を利用したオンラインまたはオンデマンド授業、課題授業にて講義を行う。 成績評価方法と基準 出席（30%）、授業で提示する課題レポート・オンライン試験(70%)などを総合して評価する。